

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学A	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	新課程 新編 数学A（数研出版）				
補助教材	新課程 Study-Upノート 数学I + A（数研出版）						

学習目標	<p>場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てるようにします。</p>
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期考査	
1学期	4月	第1章 場合の数と確率	<p>場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。</p>	中間考査	
	5月	第1節 場合の数			
	6月				
	7月	第2節 確率		期末考査	
2学期	8月	第2章 図形の性質	<p>平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。</p>	中間考査	
	9月				第1節 平面図形
	10月				
	11月			第2節 空間図形	期末考査
	12月				
3学期	1月	第3章 数学と人間の活動	<p>整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにします。また、日常にあるゲームやパズルから数学を利用した性質について学び、それらを事象の考察に活用できるようにします。</p>	学年末考査	
	2月				
	3月				

学習の方法	<p>日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。</p>
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		<p>基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。</p>	<p>事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p>
評価方法	<p>評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。</p>		